秋儿白/	共上未同	等専門学	校 │ 開講年度   令和04年度 (2	ZUZZ <del>サ/マ</del> ノ   :	受業科目	プログラミング 1	
科目基础			(-	,			
科目番号	~11711/4	12120	1	科目区分	専門 / 必修	***	
授業形態		講義	•	単位の種別と単位数	履修単位:		
開設学科				対象学年	2		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教		やさい	NC 高橋麻奈著(ソフトバンククリエ-	イティブ株式会社)	Į.		
担当教員		横山 隆					
到達目標	 票	'					
2.C 3.配 4.C	言語の制御 列変数にて 言語の関数	『構文につい いて理解す ぬの使い方に	ついて理解し利用できること て理解し利用できること ること ついて理解すること ムが作成できること				
ルーブ!	 Jック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	 D目安	未到達レベルの目安	
評価項目.	1		変数や演算式をもちいて簡単な計 算プログラムが自作できる	プログラム実行中に変の中身が推測できる	変化する変数	変数や演算子を用いて与えられた 演算式を記述できる	
評価項目.	2		制御構文を適切に用いて簡単なプログラムが作成できる	与えられたプログラ <i>L</i> の動作を推測出来る	ムの制御構文	制御構文に用いる命令や引数に付 いて理解できる	
評価項目.	3		変数や配列を適切に用いて簡単な プログラムを作成できる	変数や配列を用いたこ 動作がわかり、その中 きる		変数や配列についてその宣言方法 や利用できるデータについて理解 できる	
評価項目.	4		処理を関数にまとめ作成すること が出来る	与えられた関数を呼び することが出来る		関数の戻り値や引数に付いて理解 できる	
評価項目.5			与えられた課題に対して適切なプログラムが作成できる	与えられた簡単なプロ み、その動作が推測で		C言語の文法が理解できる	
		項目との	関係				
専門知識	(B)						
教育方法	去等						
概要		コンピ:	ュータ上で動作するソフトウェアを開発 必要となる.この授業では,プログラミ 入出力,演算式,制御構文などの基礎的	するには, プログラミング言語のうち C 言語(	ングについての	מ	
		変数や	入出力,演算式,制御構文などの基礎的	な使い方を,実習を通り	こういて, して習得する.		
授業の進む	め方・方法	座学と	寅習を交互に進めていく				
授業の進む 注意点	め方・方法	座学と注 1年生の 多くの		ミングの入門的な授業。 験だと思いますが, 上i		「習うより慣れろ」です.焦らずに	
		座学と注 1年生の 多くの	寅習を交互に進めていく カ「情報処理基礎」から続く,プログラ 人にとってプログラミングは初めての経	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが, 上i		「習うより慣れろ」です.焦らずに	
注意点 本科目の Webシラ	0区分 バスと本校	座学と注 1年生で 多くの。 じっく「	演習を交互に進めていく D「情報処理基礎」から続く, プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが,上) てください.		「習うより慣れろ」です.焦らずに	
注意点 本科目の Webシラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p	座学と注 1年生の 多くの。 じっく「 でっく」 でっく「 でっく」	演習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ 人にとってプログラミングは初めての経 うと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが,上) てください.		「習うより慣れろ」です.焦らずに	
注意点 本科目の Webシラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p	座学と注 1年生で 多くの。 じっく「	演習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ 人にとってプログラミングは初めての経 うと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが,上) てください.		「習うより慣れろ」です.焦らずに	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原	D区分 バスと本校 履修要覧(p	座学と 1年生で 多くの。 じっく「 でっく」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」	演習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ 人にとってプログラミングは初めての経 うと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが,上) てください.		「習うより慣れろ」です. 焦らずに □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履	座学と 1年生で 多くの。 じっく「 でっく」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する 「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。験だと思いますが,上。 験だと思いますが,上。 てください. うこと。			
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学と 1年生で 多くの。 じっく「 でっく」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する 「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。験だと思いますが,上。 験だと思いますが,上。 てください. うこと。			
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学と 1年生で 多くの。 じっく「 でっく」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」 でって「 でって」	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する 「②専門基礎科目」である。	ミングの入門的な授業。験だと思いますが、上述 なてください. ること。		□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学とだって「 1年生で多くの、 じっく「 に優修要覧の。9)に記載す 修上の区グ	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。  → □ ICT 利用	ミングの入門的な授業。験だと思いますが、上記でした。  「こください。」  「遠隔授業対応  過ご  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学と   1年生に   多くの。   じっくり   でっくり   でっくり	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。  ↑	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください. 5こと。 □ 遠隔授業対応 週ご 5 5	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学と   1年生で   多くの。   じっくり   でっくり   でっとり   でっと   で	演習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。  → □ ICT 利用  「授業内容 」プログラミングとは	ミングの入門的な授業。験だと思いますが、上記でした。  「こください。」  「遠隔授業対応  過ご  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」  「多別である。」	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学と   19   19   19   19   19   19   19   19	演習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。  ↑	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください. 5こと。 □ 遠隔授業対応 週ご 5 5	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 履修要覧(p 属性・履 モィブラー:	座学と   1年年の   多くの   19   13   13   13   13   13   13   13	演習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く,プログラ人にとってプログラミングは初めての経 ひと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。  → □ ICT 利用  授業内容 プログラミングとは プログラミングツールの使い方 1 プログラミングツールの使い方 2	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上述 てください. 5こと。	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学と   19   19   19   19   19   19   19   19	<ul> <li>歯習を交互に進めていく</li> <li>か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ</li> <li>料目区分では表記が異なるので注意するる「②専門基礎科目」である。</li> <li>け</li> <li>□ ICT 利用</li> <li>授業内容</li> <li>プログラミングとは</li> <li>プログラミングツールの使い方 1</li> <li>プログラミングツールの使い方 2</li> <li>変数と文字列表示</li> </ul>	ミングの入門的な授業 験だと思いますが、上述 てください. 5こと。	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 ロアクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学と   1年生の   多じつくり   でまる。   19   に記載す   19   に記載す   1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	関習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください. 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 5 5 5 5 1,5	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 D アクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学と   1年年の   1年年の   19   10   10   10   10   10   10   10	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。  ・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください. 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 5 5 5 5 1,5	となります.	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 D アクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学と   19 (19 (19 (19 (19 (19 (19 (19 (19 (19	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。  → □ ICT 利用  授業内容 プログラミングとは プログラミングツールの使い方 1 プログラミングツールの使い方 2 変数と文字列表示 演算子 入出力 中間試験	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください. 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 5 5 5 1,5 1,5 1,5	となります. 幸への近道は との到達目標 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 フクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学生の   19   19   19   19   19   19   19   1	横習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。  ○ 専門基礎科目」である。  □ ICT 利用  授業内容 プログラミングとは プログラミングツールの使い方 1 プログラミングツールの使い方 2 変数と文字列表示 演算子 入出力 中間試験 フローチャートと制御構文	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 D アクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	座学生の   19   19   19   19   19   19   19   1	横習を交互に進めていく か「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するる「②専門基礎科目」である。  → □ ICT 利用  授業内容 プログラミングとは プログラミングツールの使い方 1 プログラミングツールの使い方 2 変数と文字列表示 演算子 入出力 中間試験 フローチャートと制御構文 プログラム製作	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上述 てください。 5こと。	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 D アクラ	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	座学年の   19   10   10   10   10   10   10   10	歯習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経 のと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する る「②専門基礎科目」である。  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上述 てください。 5こと。 5こと。 5 5 5 5 5 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 D アクラ	D区分 バスと本校 愛修要覧(p 属性・履 ィブラー:	図字 生のく   18	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ミングの入門的な授業 験だと思いますが、上述 てください。 5こと。 5こと。 5 5 5 5 5 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 アクラ 授業計画	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	座学生の   1	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意するである。  ・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。 □ 遠隔授業対応 5 5 5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 5 5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 アクラ 授業計画	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	座学生の   19   10   10   10   10   10   10   10	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。 つ 専門基礎科目」である。 け □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ Jログラミングとは プログラミングツールの使い方 1 プログラミングツールの使い方 2 変数と文字列表示 演算子 入出力 中間試験 フローチャートと制御構文 プログラム製作 条件分岐 1 配列変数 繰り返し 1 繰り返し 2	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 5 5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 アクラ 授業計画	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	図字 生の	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。 「②専門基礎科目」である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 5 5 5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 アクラ 授業計画	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	図字 生の	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。 「②専門基礎科目」である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 5 3,5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原 アクラ	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	図字 生のく   1 を	<ul> <li></li></ul>	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上述 てください。 3こと。 □ 遠隔授業対応 5 5 5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 5 3,5 5 3,5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシララは 授業の原 受業計画 前期	D区分 バスと本校 優修要覧(P 属性・履 ーイブラー: 1stQ	図字 生のく   18   18   18   18   18   18   18   1	<ul> <li></li></ul>	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上述 てください。 5こと。	となります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 3,5 3,5 3,5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webショラはは 一世の では では では では では では では では では では	D区分 バスと本校 優修要覧(p 電性・履 ーイブラー:	図字 年 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<ul> <li></li></ul>	ミングの入門的な授業 験だと思いますが、上述 てください。 5こと。	とかります. 幸への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 3,5 3,5 3,5 3,5 3,5	□ 実務経験のある教員による授業	
注意点 本科目の Webシラ 本科目は 授業の原	D区分 バスと本校 優修要覧(P 属性・履 ーイブラー: 1stQ	図字 生のく   18   18   18   18   18   18   18   1	関習を交互に進めていく の「情報処理基礎」から続く、プログラ人にとってプログラミングは初めての経りと基礎的な部分から学習を進めていっ 科目区分では表記が異なるので注意する。 つ 専門基礎科目」である。 け	ミングの入門的な授業。 験だと思いますが、上記 てください。 5こと。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1,5 1,5 1,5 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2, 1,2,	とかります. 全への近道は との到達目標 5 3,5 5 5 3,5 5 3,5 3,5 3,5 3	□ 実務経験のある教員による授業	

		7週	中間試験		1,2,3,5				
		8週	課題	<b>夏</b> プログラムの製作3 1,2,3,5					
Ī		9週	関数	效		1,2,3,4,5			
		10週	簡単			1,2,3,4,5			
		11週	簡単	な関数の使いる	5 2 1,2,	3,4,5			
	4thQ	12週	課題	プログラムの	是作4 1,2,	3,4,5			
	TUIQ	13週	課題	プログラムの	操作5 1,2,	3,4,5			
		14週	課題	プログラムの	操作6 1,2,	3,4,5			
		15週	期末	試験	1,2,3,4,5				
		16週							
モデルコ	アカリキ	ユラムの	D学習	内容と到達	目標				
分類	_	分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
					同一の問題に対し、それを解決できる複数 しうることを知っている。	3	前13,後 2,後3		
基礎的能力	工学基礎	情報! シー	ノテラ	ラ 情報リテラシー	与えられた基本的な問題を解くための適じすることができる。	3	前7,前 14,後4,後 5,後6,後 7,後12,後 13,後14		
					任意のプログラミング言語を用いて、構築 装できる。	3	前7,前 14,後4,後 5,後6,後 7,後12,後 13,後14		
専門的能力				プログラミング	代入や演算子の概念を理解し、式を記述で	できる。	4	前5,前7,後 1	
					プロシージャ(または、関数、サブルーチ 、これらを含むプログラムを記述できる。	ンなど)の概念を理解し	4	後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14	
					変数の概念を説明できる。		4	前4,前6,前 7,前11	
					データ型の概念を説明できる。		4	前4,前6,前 7,前11	
					制御構造の概念を理解し、条件分岐を記述できる。		4	前10,前 14,後3,後	
					制御構造の概念を理解し、反復処理を記述できる。		4	前12,前 13,前14,征 1,後2,後4	
	分野別の専門工学	)専 情報系	系分野		与えられた問題に対して、それを解決する ムを記述できる。	4	前6,前7,後 4,後5,後 6,後7,後 12,後13,後 14		
					ソフトウェア生成に必要なツールを使い、 ードモジュールに変換して実行できる。	4	前1,前2,前 3		
					与えられたソースプログラムを解析し、こ することができる。	4	前6,前7,前 14,後4,後 5,後6,後 7,後12,後 13,後14		
					要求仕様に従って、標準的な手法により グラムを設計できる。	4	後2,後4,後 5,後6,後 7,後12,後 13,後14		
					要求仕様に従って、いずれかの手法により 設計することができる。	4	前6,前7,前 14		
					要求仕様に従って、いずれかの手法により 実装することができる。	4	前6,前7,前 14		
					要求仕様に従って、標準的な手法により乳グラムを実装できる。	4	後2,後4,後 5,後6,後 7,後12,後 13,後14		
				野 情報系【実 験・実習】	与えられた問題に対してそれを解決するためのソースプログラム を、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。		4	前1,前2,前 3	
	分野別のコ学実験・調路力				ソフトウェア生成に利用される標準的な!ースプログラムをロードモジュールに変	4	前1,前2,前		
		の工 情報系 ・実 【実験	情報系分野 【実験・実 習能力】		ソフトウェア開発の現場において標準的で生成したロードモジュールの動作を確認で	4	前1,前2,前 3		
		習能力			プローチャートなどを用いて、作成するプログラムの設計図を作成することができる。		4	前9,前10	
					標準的な開発ツールを用いてプログラミン 構築ができる。	4	前1,前2,前 3		
					要求仕様に従って標準的な手法によりプE な実行結果を得ることができる。	4	前1,前2,前		

	試験	発表	相互評価	態度	課題提出・ミニ テスト	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0